

北海道新聞

2017年
5月19日
金曜日

発行所
北海道新聞社
〒060-8711 札幌市
中央区大通西3丁目6
電話011-221-2111
dd.hokkaido-np.co.jp
読者センター
011-210-5888
(日曜・祝日除く9時~18時)
ご購入申し込み
0120-464-104
ヨロコブド

KS あんしんパスポート
会員募集中!
 ケーズデンキ
加入料・年会費無料
 「価格」が安心 「アフターサービス」が安心
 「万が一の商品リコール」にも安心 「消耗品等のお買物」が安心

| きょう6時 | 9 | 12 | 15 | 18 | 21 | 24 | 20(土) | 21(日) | 22(月) |
|-------|---|----|----|----|----|----|-------|-------|-------|
| 札幌 | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ |
| 旭川 | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ |
| 帯広 | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ |
| 苫小牧 | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ |
| 室蘭 | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ |
| 釧路 | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ |
| 根室 | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ |

☆19日は、全道的に晴れるが、北部では風が強まる。最高気温は30度に届く所も。熱中症に注意。

【苫小牧】コンクリート製製造内大手の会沢高圧コンクリート(苫小牧、会沢祥弘社長)は、ミャンマーに合弁会社を年内にも設立し、日本の政府開発援助(ODA)で大規模事業が進む同国の幹線鉄道の路盤改修や、最大都市ヤンゴン南部の工業団地で進む港湾工事に参画する。既に現地に工場を建設しており、6月からコンクリートの生産を始める。



神と向き合う日々

トラピスチヌ修道院

光のもとで

神々しい光に包まれ、神を神とともに過ごす。原則と向き合う修道女たち。として一般人の立ち入りは観光名所としても知られる「天使の聖母トラピスチヌ修道院」(函館市上湯川町)は、創立から今年で120年目を迎えた。

共同生活を送るのは、キリスト教カトリックを信仰する女性50人。修道女は基本的に院内で暮らし、生涯は、創設から今年で120年目を迎えた。

北海道新聞は報道機関として初めて修道院内の長期取材に入り、週明けの夕刊から始める連載で、季節ごとに修道院の様子を紹介し本格的に院内で暮らし、生涯

生産で コンクリート ミャンマー

ミャンマーでは、日本の援助によるインフラ整備が進む。会沢は寒冷地や東南アジアなど厳しい気候条件でのコンクリートの製造技術を持っている。道内企業がミャンマーの幹線鉄道事業へ参画するのは、国際協力機構(JICA)によると「把握している限り、初めて」といふ。

合弁会社はアイザワミャンマー(ヤンゴン)。会沢系の海外関連会社、アイザワコンクリートインターナショナルHD(シンガポール)と現地の建材商社タイガースプライ(ヤンゴン)、総合建設コンサルタンの復建調査設計(広島)の3社が計1億1千万円(日本円換算)を出資し、9日に合弁契約に調印した。

3社がヤンゴン市郊外で建設中のコンクリート製工場では、会沢が製品設計と製造を担い、本年度に約1万トンを生産する予定。ミャンマーの最大都市ヤンゴン



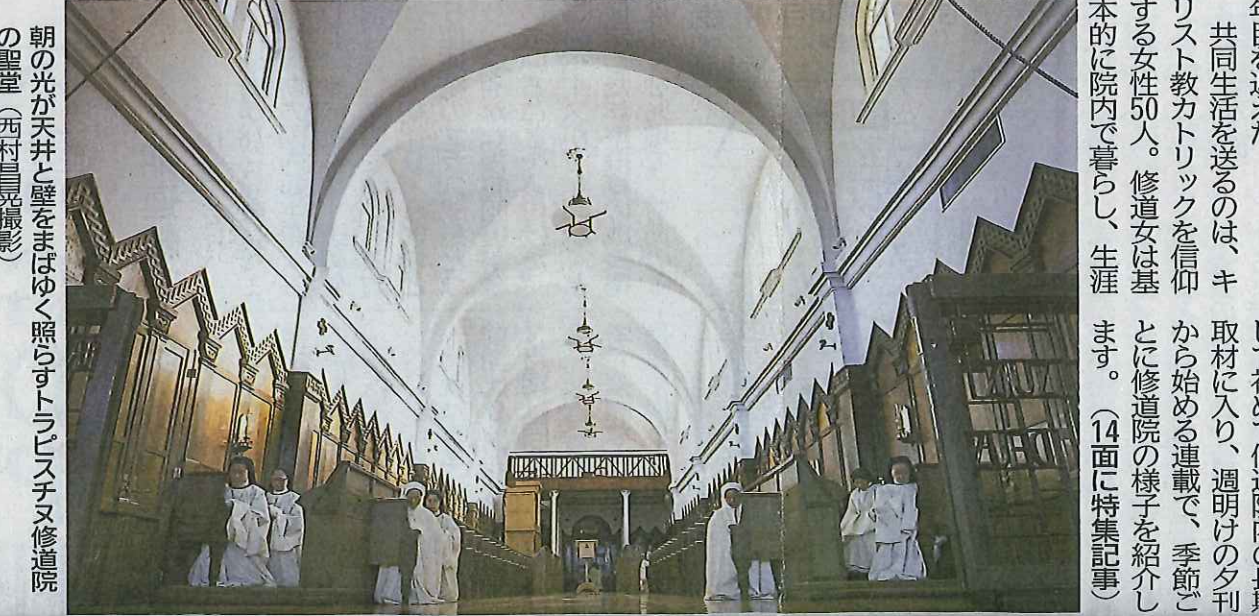
「大動脈」鉄道を改修

ンと首都ネピドー、商業都市マナダレーを結ぶ幹線鉄道(約620キロ)は同国の大動脈。老朽化が進み輸送効率が悪化しているため、日本の援助で2014年から25年までの工期で、線路や車両、信号システム、電力設備などを大規模に改修する。総事業費は現時点で1127億円。さらに増える見込み。アイザワミャンマーはコンクリート製枕木や大型ボックスカルバート(箱型の暗渠)などを供給する予定だ。

鉄道事業に先立ち、同社はヤンゴン南部のティラワ工業団地の港湾整備にコンクリート製大型型鋼などの製品を今後納入する。同工業団地は15年に日本の商社やミャンマー政府、地元企業などによる共同企業体が開設し、進出予定約80社の半数が日系企業だ。

会沢高圧コンクリートの17年3月期の売上高は167億円で、ロシアやモンゴルなど海外5拠点にグループ会社を持つ。会沢社長は「道内で培った技術力をミャンマーでも生かしたい」としている。

ヤンゴンの中心部から北に約30キロの地点に建設中のコンクリート工場(会沢高圧コンクリート提供)



朝の光が天井と壁をまばゆく照らすトラピスチヌ修道院の聖堂(西村昌見撮影)

自民改憲案年内にも 来年、憲法審提示へ

自民党は、安倍晋三首相(党総裁)が2020年の改正憲法施行を目指す意向を明らかにしたことを受け、年内に党としての憲法改正案を策定する方向で調整に入った。9条に自衛隊

の根拠規定を加える首相の案を軸に改正項目を絞り込み、来年の通常国会で衆参両院の憲法審査会に提示することを目指す。党内には12年にまとめた党改憲草案との整合性を問う声や、野

党との合意形成より改憲案を急ぐことへの懸念もあり、曲折も予想される。

(3面「熟議より熟議」)

自民党の二階俊博幹事長は18日、保岡興治・党憲法改正推進本部長と党本部で

会談し、改憲案取りまとめに向け同本部の態勢を強化する方針で一致。保岡氏は会談後、記者団に「具体案づくりは非常に重要だ」と強調した。同本部には二階氏ら党四役や高村正彦副総裁、12年草案の起草に関わった議員も加わる見通し。近く議論を本格化させる。

首相は改憲項目として①戦争放棄を定めた9条1項、戦力不保持などをうたった2項を維持した上で自衛隊の存在を追記する9条

改正の教育無償化の明記を3日に提起。党執行部はこうした首相の意向に基づき、大災害時などの緊急事態条項の創設も論点に加え、改憲案をまとめる考えで、国会提出前に公明党や日本維新の会との調整を進めることも検討する。

ただ自民党内では9条2項を削除して「国防軍」を保持するとした12年草案と異なる内容を首相が党内論議を経ずに打ち出したこと

に「『あの草案はなし』と総裁の発言一つで決まるのか」(石破茂前地方創生担当相)などと反発が出ており、党内調整が難航する可能性もある。国会論議を急げば民進党など野党が態度を硬化させるの必至だ。

菅義偉官房長官は18日の記者会見で「首相は自民党総裁として国会の議論を活性化させるため改憲の考えを公にした。党内でさまざまな議論がなされるのは当然だ」と述べ、野党などの批判をけん制した。